

城陽市障がい者自立支援協議会

第1回 就労部会報告書

平成23年7月30日

報告者 部会長 竹内 仁

標記について下記のとおり報告します。

| | |
|------|---|
| 日 時 | 2011年7月4日(火) |
| 場 所 | 城陽障害児者生活労働センターうおーく (みんななかま) |
| 出席者 | 知的障害者ディサービスセンターあっぷ、城陽作業所、ワークショップ野の花、 ものづくりスペースみんななかま 城陽市福祉課 |
| 参加者数 | 6名 |
| 検討課題 | ①自己紹介、②各作業所(事業所)の取り組み報告、③就労促進体制強化検討事業の報告、④福祉的就労への課題、⑤城陽市へ障害のある人への就労促進に向けた提言 |

【議事録】

| |
|--|
| <p>1、自己紹介</p> <p>2、各作業所(事業所)の取り組み報告</p> <ul style="list-style-type: none">・ あっぷ、重度障害のある人の就労の場と余暇の場。下請け仕事は主にダイソーからいただいている仕事。自主製品はプランターカバー園芸等をつくっている。・ 城陽作業所、一般就労者から退職して就労 B に通所している人が数名いる。自主製品→陶芸(ほうらく)クッキー(専門家配置)野菜。下請け→タオル・箱折り。・ 野の花、自主製品→切り絵・手漉きしおり・夢ふくろ。切り絵は駅ビル販売・嵐山販売で大好評。特に外国人客に大人気。・ みんななかま、自主製品→手漉きはがき・羊毛・さをり・キャンドル等。羊毛製品のいもむしくんストラップは人気商品。 <p>3、就労促進対策強化検討事業報告</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2010年度に取り組んできた実践から見えてきた課題。①障害者雇用に向けての検討と実践②受注仕事の確保(単独受注と共同受注)③授産支援就労促進ネットワークとの役割分担と連携④先進的な事例への研究と調査。 <p>4、福祉的就労の課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 障害の実態にあった仕事と量。(作業所ごとに障害のある人の実態が異なることから受注量に対する意識も異なる)・ 自主製品の販路確保に向けて。(①宣伝方法、②行政・企業との繋がり等)・ 製品の質的向上。(障害の実態にあった製品づくりの事例・質的アップに向けた企業との連携等) <p>5、提言については、今後の就労部会の取り組みから随時挙げまとめていく。</p> <p>6、上記課題点を柱として、単年度目標を定め今後の部会議内容・構成員の選定・先進的事例の学習に取り組んでいく。</p> |
|--|

※配布資料添付のこと

次回開催予定日：8月31日